

令和4年度市長出前講座

1. 日 時： 令和5年3月6日（月） 9時30分～10時30分
2. 場 所： 嶺南小学校体育会
3. 出席者： 嶺南小学校6年生 計51名
市側：市長、秘書広報課 佐久間課長補佐
4. テーマ： 私たちの南房総市をよりよくしよう
5. 概 要：

【児童による発表】

6年生の児童51人が14グループに分かれ、順番に資料とプロジェクターを使って修学旅行で訪れた「香取市佐原」と生まれ育った「南房総市」の特色の違いや歴史などを調べ、これからの南房総市がどのような地域であって欲しいかを考え提案を発表しました。

【市長講話】

皆さんが色々調査した結果を聞かせていただきました。皆さんも今回の佐原との比較の中で南房総を改めて知ることができたのかなと感じました。

今回調べた中で分かったと思いますが、それぞれの地域の気候風土や地理的条件だとか周辺環境の違いによって、暮らし・産業に違いが出てきます。南房総は1年を通じて気候が温暖で三方を海に囲まれているという歴史の中でいろんな産業が生まれ現在まで続いています。

今回の調査対象は、和田地域と丸山地域のことが中心でしたが、南房総市にはまだまだ特色のある産業があり、丸山地区だと大井地区には「酪農のさと」があって、酪農発祥の地と言われていまして酪農が盛んになっています。

花の栽培も盛んにおこなわれており、キンセンカの栽培は日本一の産地になっています。また、食用花と言われる花を栽培して、南房総の観光資源として活かしていこうという取り組みもしています。

皆さんの発表には、クジラや花などの歴史や伝統・自然というものをこれからも大切に守っていききたい、そして活かしていききたいという内容が多かったのですが、それはとても大切なことだと思っています。また、南房総市の伝統産業や漁業・農業についても引き続きしっかりと将来に引き継いでいかなければならないと思っています。

社会状況の変化の中で、農業や漁業などの産業は現在置かれている状況の中で刻々と変わっていきませんが、そういった産業を守っていくことは、なかなか難しいことです。日本人が大切にしていかなければならないもの、南房総市が大切に守り続けて行かなければならないものをしっかりと改めて認識して見つめ直していくことが大切だと思っています。

今回皆さんの提案は佐原地区との比較となっていますが、広い日本の色々な地区には、様々な違った歴史や文化、地区の良さがあります。これから皆さんも色々な

機会を通じて、そうしたことに触れることがあると思いますが、そうした他地区の良さなどから南房総市の良さをこれからも発見してもらえればありがたいと思いますし、生まれ育った南房総市の歴史を広く皆さんにも学んでいただきながら、南房総市の良さを皆さん自身が次の世代への担い手として引き継いでいってもらえたらありがたいと思っています。

市としましても一生懸命に皆さんと一緒に、この南房総を作っていく、また、守っていきたくと思っています。今回学んだことを大切に、これからも一緒になって南房総市のためにがんばっていきましょう。いい勉強ができたと思います。これからも続けてください。がんばってください。

【市政懇談会の様子】

